

クス研究会(竹内政司本部長)は十一月二十一日、オープンセミナーを開

竹内本部長が「ロジ研」に着けた内容を実際に会
中小企業総合展2008
「レントトラ便」出展
ハーツ

「ター」導入の効果や車種別の業績管理、個人別の目標管理を紹介した。

事故防止大会
安全輸送を徹底
中央支部

中央支部

【沼尻尚子】運転者付各種トラックレンタルサービス「レントラ便」事業を展開するハーツ(山

区)は、十一月二十八日に、東京ビッグサイト(江東区)で開かれた「中小企業総合展2008 in Tokyo」(中小企業基盤整備機構主催)に出展。来場者だけでなく、出展企業に対してPR活動を行った。

【鹿野島智子】東京都トラック協会の中央支部(宇野数雄支部長)は十一月二十日、飲酒運転絶滅・交通事故防止事業者大会を開いた。

宇野支部長は「例年十二月は繁忙期で事故が多い。運転のプロである緑ナンバーのトラックが飲酒運転事故を起こすことのないよう、一層の注意を社員に呼び掛けてほしい」とあいさつ。

東ト協副会長の結城幸彦・事故防止委員長は「(昨年度から)三年間で事故を半減するという東ト協の事故防止活動について、中央支部には積極的に協力してもらい、強い結束力を感じる。この活動を国民運動に高めるためには、協会が行政に道路環境整備を訴え、事業者一人ひとりが共通認識を持って取り組むことが必要」と強調した。

同社ブースではレントラ便事業の概要をビデオで紹介。二〇〇六年六月から〇八年十一月現在までの受注件数推移などをパネル展示し、好調な業績をアピールした。また、山口社長も自ら来場者へのプレゼンテーションを行い、手頃なサービスを印象付けた。



「1件でも受注する」とが目標」と山口社長

山口氏は「レントラ便の一般認知度を高めるために出展した。全出展企業五百三十社もレントラ便ユーザーとなることを考えられる。出展期間中に一件でも受注することを目標としている」と語った。

東ト協副会長の結城幸彦・事故防止委員長は「(昨年度から)三年間で事故を半減するという東ト協の事故防止活動について、中央支部には積極的に協力してもらい、強い結束力を感じる。この活動を国民運動に高めるためには、協会が行政に道路環境整備を訴え、事業者一人ひとりが共通認識を持って取り組むことが必要」と強調した。

このほか、新規作成した危機管理規程、不祥事件等管理要領、危機管理マニュアルの各案を承認した。

越えていきたい」と

油拠点東京西
月26日開設

三和エナジー

二十六日、エナジーポイントワークを充実させる。ント(給油拠点)東京西(東京都東久留米市)を初の当日受注、当日配開設した、と発表した。既存の関東七拠点に加トカード決済も開始しており、さらなるサービス向上を目指す。

を設置し、優良事業者に推薦するのはどうか。入り口を許可制から免許制

共同組合の豊田節夫・推進安全部長、警視庁高速道路交通警察隊の佐藤善文警部補が、首都高速道路で起きたタンクローリ

鹿野島智子】三和エナジー(上野瑞穂社長、中港北区)は十一月

委譲すればいい。どんな社会的規制も順守するのマークをもっと大々的にPRし、荷主が取得事業者を評価するよう誘導すれば、コンプライアンス

を回復するため、秩序を回復するため、悪者には退場してもらわないといけない。ドライバーの生存権を盾にした論理を耳にするが、ドライバーは保護の対象にす

最後に、田木景三副支部長は安全輸送を徹底し、交通安全を半減するという大会宣言を読み上げ、盛会のうちに幕を閉じた。

緩和の是正が必要

(法令順守)も安全確保も困難になる。

業界が社会から認知されるには、自らを厳しく律する必要性があり、安全性優良事業所認定(Gマーク)の取得を目指す事業者がごく一部なのは

行政は十分な監査せよ



に戻し、最低保有車両も再び十両に引き上げるべきだ。

また、最低保有車両も再び十両に引き上げるべきだ。